



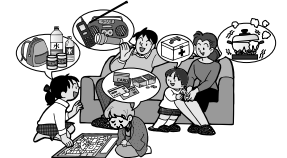
# 備えはできていますか？ 家庭の防災対策を再点検！

地震や大雨、台風などによる甚大な被害が全国各地で発生しています。災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。予想される東海地震やこれからの台風シーズンに備え、この機会にもう一度、家庭での防災対策について確認してみましよう。

## 家族で防災会議

災害時に慌てず行動できるように、防災について日頃から家族で話し合い、情報を共有しておきましょう。

家族の役割分担の確認  
備蓄品の点検  
など日常の役割と災害時の非常用品の持ち出し、乳幼児や高齢者を誰が避難させるかなどの役割を確認しておきましょう。



## 避難場所、避難経路の確認

自宅から避難場所まで実際に歩いてみるなど安全な避難経路を確認しておきましょう。

家族との連絡方法の確認  
災害発生時に家族が別々の場所にいた場合の連絡方法、落ち合う場所などを確認しておきましょう。



## ●わが家の避難場所は？(指定避難場所一覧)

地区別	名称
旧下田	下田幼稚園、下田公園、長楽寺、天理教下田分教会、下田小学校、下田中学校、敷根公園
稲生沢	本郷公民館、西本郷三丁目稲荷大明神高台、立正佼正会、中村東公園、中村中央公園、中公民館、竹麻神社、稲生沢公民館、稲生沢小学校、県立下田高等学校、上大沢消防詰所、下大沢共同集荷所、稲生沢中学校、諏訪神社、重福院、向陽院、下田自動車学校
稲梓	落合公民館、稲梓中学校、稲梓幼稚園、基幹集落センター、稲梓小学校、須原公民館、あずさ山の家、八木山公民館、相玉公会堂、諏訪神社、加増野ポーレポーレ、北湯ヶ野公民館
朝日	大賀茂小学校、朝日公民館、朝日小学校、宝徳院、青少年海の家
浜崎	下田東中学校、浜崎小学校、観音寺、須崎保育所、旭洞院
白浜	白浜小学校、オーシャンビュー伊豆白浜、板戸公民館、禅福寺

## 非常持出品を準備しよう

貴重品(現金・通帳・印鑑など)	懐中電灯、予備電池	食料(乾パン類など)	缶切り、ポリ袋、トイレトーパー、雨具、ナイフ
飲料水(1日1人3リットル)3日分程度	救急セット(包帯、三角巾、脱脂綿、消毒液など)	防災ずきんかヘルメット、軍手、タオルなど	マッチやライター、ろうそくなど
	衣類(下着、セーターやジャンパー類)	携帯ラジオ	ちり紙、歯磨きセット

持ち出し品は男性で最大15、女性で10がひとつの目安です。

## 建物と周囲の安全対策

■家屋の耐震化  
家屋の耐震性を点検し、必要に応じて補強工事を施すなど、地震に強い家にしておきましょう。耐震補強を行う場合には、市の助成制度が利用できる場合があります。(左図参照)



いかなど、日頃から点検をしておきましょう。

■ブロック塀の点検  
ぐらつきやひび割れ、傾きなどがないか点検をし、必要に応じて補強しておきましょう。

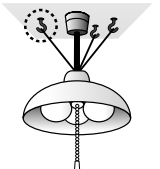


## 家の中の安全対策

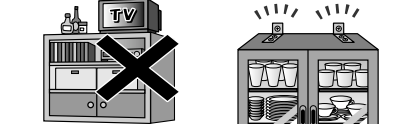
■家具の転倒・移動防止  
寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かないなどの工夫をしましょう。  
・本棚やたんすは、転倒しないよう、L字型金具などを使っ

■避難通路の確保  
安全に避難できるように、

・つり下げ式の照明器具は、鎖と金具で留めて補強する。



てしっかりと留める。  
・食器棚は、扉が開かないように留め金を付け、ガラスには飛散防止フィルムを貼る。  
・テレビは、できるだけ低い位置に設置し、しっかりと固定する。



出入口や通路には障害になるものは置かないようにしましょう。

■生活用水の確保  
飲料水その他に生活用水も必要となります。普段からお風呂などに貯め置きをしておくと、災害時に慌てず冷静な行動をとるためには、日頃からの訓練が欠かせません。防災訓練など地域の自主防災活動に積極的に参加し、防災についての正しい知識を身につけましょう。

■消火の備え  
万一の出火に備えて、消火器などをすぐ使える場所に用意しておきましょう。



## 地域ぐるみで防災活動

災害が発生したとき頼りになるのが、地域住民の助け合いです。普段から地域で協力しあう体制を築いておきましょう。また、災害時に慌てず冷静な行動をとるためには、日頃からの訓練が欠かせません。防災訓練など地域の自主防災活動に積極的に参加し、防災についての正しい知識を身につけましょう。

問合せ先 市民課防災係  
☎2215

## わが家の地震対策はお済みですか？

耐震診断は無料、耐震補強計画や補強工事には補助金が受けられます。



【対象】昭和56年5月31日以前に着工された在来工法による木造住宅

①専門家派遣による無料耐震診断(わが家の専門家診断事業)  
市が派遣する専門家「静岡県耐震診断補強相談士」が耐震診断(無料)を行います。

②精密診断を行い補強計画を作成(木造住宅補強計画策定事業)  
耐震補強工事のための耐震補強計画作成(補強計画作成に先立つ現況の精密診断含む。)を建築士事務所へ依頼した際に要する費用に対し補助金を交付します。  
・上限96,000円(補助率2/3)

③補強計画に基づき耐震補強工事(木造住宅耐震補強助成事業)  
耐震補強計画に基づき行う補強工事に要する費用(実施設計費含む。)に対し、補助金を交付します。  
・上限額30万円(補助率10/10)  
高齢者のみが居住する住宅や障害者が居住する住宅等の場合は、補助上限額は50万円

上記は一般的な流れです。①から③のいずれか1つだけの事業を受けるだけでもかまいません。詳細については建設課都市住宅係 ☎2219までご相談ください。

## 「災害用伝言ダイヤル171」

災害用伝言ダイヤルは、災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

伝言の録音方法	伝言の再生方法
171にダイヤルする ガイダンスが流れます	171にダイヤルする ガイダンスが流れます
録音の場合 1	再生の場合 2
ガイダンスが流れます	ガイダンスが流れます

被災地の方は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の番号を市外局番からダイヤルしてください。

## 「災害用伝言ダイヤル171」を体験できます。

いざという時のために、利用方法を家族で確認しておきましょう。(ご利用には、通話料がかかります)  
【体験利用可能日】 毎月1日00:00~24:00、8月30日9:00~9月5日17:00、1月1日00:00~1月3日24:00、1月15日9:00~1月21日17:00